

松山大学所報研究助成研究会

演題：「現代民主主義の隘路—アーレント研究の視角から」

講師：森川 輝一氏（京都大学大学院法学研究科教授）

講演概要

グローバルな新自由主義化が加速度的に進行するなか、立憲民主政の機能不全と、それに対する人々の不満や不信が露わとなっている。二〇世紀という全体主義の時代に自由の政治の再生を模索した亡命思想家アーレントの政治思想を手がかりに、ロールズやシュミットといった通例アーレントとは相容れない立場にたつと目されている政治思想家との比較考察も交え、立憲民主政体の困難と危機について思考をめぐらせてみたい。

（参考文献）

- ・川崎修・萩原能久・出岡直也（編）『アーレントと二〇世紀の経験』（慶應義塾大学出版会、2017）
- ・実存思想協会（編）『アーレントと実存思想』（理想社、2017）

コーディネーター：松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：森川 輝一氏の経歴

1971年 埼玉県生まれ

京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科修了、名城大学法学部准教授を経て、現在—京都大学大学院法学研究科教授

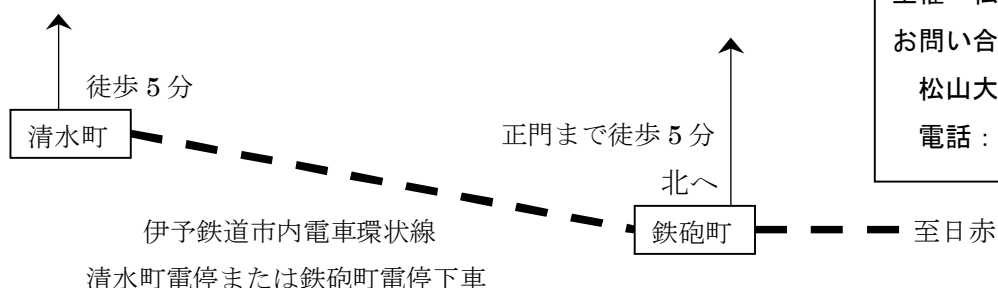
著書—『〈始まり〉のアーレント—「出生」の思想の誕生』（岩波書店）、編著書『講義 政治思想と文学』（ナカニシヤ出版）

日時：2017年 **12月25日**（月）

14：15～15：45

入場無料・参加自由

場所：松山大学 東本館7階 会議室2



主催 松山大学所報研究助成

お問い合わせ先

松山大学法学部遠藤研究室

電話：089-926-7024（直通）